

学校だより

由布川っ子

令和6年7月19日（金）発行

由布市立 由布川小学校 第8号



校長 阿部 幸一

本日子どもたちに、1学期のがんばりを評価した「あゆみ」を配りました。通知表は、現在の子どもの姿を決めつけるものではありません。特に所見については担任が子どもたちを指導・評価していった結果としてがんばりの様子や今後に期待する点をまとめたものです。保護者の皆様方にはどうぞ、お子さんと日頃の学習活動の様子などを一緒に話しながらご覧いただき、夏休みや2学期以降の意欲につながるように、活用していただきますように切にお願い申し上げます。

夏休み、子どもたちを家庭に戻します。35日という長期の休みですので、どうか、交通事故・水難事故・不審者事案等から命を守る声かけを必ずしていただき、「実りある夏休み」になることをお祈り申し上げます。

なお、8月13日（火）～16日（金）は市内小中学校全校、閉庁期間となりますので、

緊急時は校長校用携帯

までご連絡ください。

【7月19日（金） 1学期の終業式】

さて、1学期も無事に終業式を迎えることができました。式の中では、代表の子どもたちが、1学期に頑張ったことと夏休み頑張ることや楽しみにしていることを堂々と発表することができました。校長の話として、「1つでもいい、がんばった夏休みとして、何かに取り組んでみましょう」と呼びかけをしました。最後に生活指導の先生から、事故防止について、3つの車（救急車、消防車、パトカー）と関連させた話があり、子どもたちも一生懸命に聞いていました。事故の夏休みでいきたいものです。

【3年生：幼稚園生におそうじの秘技を伝授】

7月18日（木）3年生の子どもたちが由布川幼稚園に行き、小学校で自分たちがやっている拭き掃除の仕方を幼稚園生に教えてあげました。幼稚園生もとっても素直で、笑顔いっぱいながらも一生懸命に取り組んでいました。最後の振り返りでは、幼稚園生から「ゆっくり教えてくれてうれしかったです。」とか、『ふわふわ言葉』をたくさんもらい、3年生もうれしそでした。



【ちょいよかエピソード】

ある朝の登校指導の時に、何枚もの模造紙を丸めて重そうに登校してきた高学年の子がいました。「それなあに？」と聞くと、「お楽しみ会の準備です。」と教えてくれました。終業式前日にその日がやってきて、また一段と大きくなった模造紙を重そうに体育館に向かっているその子と遭遇したので、体育館に見に行くと、何ともユニークな巨大スゴロクゲームがありました。みんなで楽しむためにその役を請け負い、お家で自分たちのアイデアを実現させたのかと思うと、その努力と根気に驚きと感動をもらいました。いろいろとチャレンジのできる夏休みが来ます。お子さんの意欲を導き出し、達成感につなげられるチャレンジをしてはどうでしょう。

